

# スクリーン印刷の基本と、安定した印刷を実現するノウハウ そしてスクリーン印刷を応用した新たな手法

セミナーURLはこちら→ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/260838>

1名分料金で  
2人目無料

◆日時：【LIVE受講】2026年08月26日(水) 13:00～15:00

【アーカイブ受講】8/27(木)～9/3(木)

◆形式：ZoomによるWEB配信

◆聴講料：1名につき44,000円(税込、資料付)

会員(案内)登録していただいた場合、通常1名様申込で44,000円(税込)から

・1名で申込の場合、**38,500円(税込)**へ割引になります。

・2名同時申込で両名とも会員登録していただいた場合、**計44,000円(2人目無料)**です

## セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

### ●講師：(株)ミノグループ 機械事業部 印刷技術課 池戸 裕明 氏

#### 【講演の趣旨】

スクリーン印刷は大きく、版・インク(ペースト)・スキージ・印刷装置の4要素によって成り立っています。これらを正しく使用すれば容易に印刷ができる手法ですが、経験や勘に頼ることで数値化ができず、再現できないケースが多々あります。本セミナーでは印刷に重要なファクターであるスキージと印圧を中心にお話しすることで、安定した膜厚を得るためには何が重要であるかをご理解いただけたらと思います。また、スクリーン印刷では版と印刷物の間に隙間(クリアランス)を必要とするため、版離れの遅れに伴う滲みや歪みの問題を抱えます。この発生原因とその解決法をお話いたします。様々な要素が影響する印刷では、今回のセミナーですべてが解決するわけではありませんが、その一助となると思います。また、新たな手法として凹凸面への転写印刷(スクリーンパッド法)をご紹介します。

#### 【プログラム】

##### 1. スクリーン印刷の課題と宿命

- 1-1 塗膜厚を決める要因(製版)
- 1-2 塗膜厚を決める要因(印刷パラメーター)

##### 2. 膜厚の安定化

- 2-1 印圧と塗膜厚の相関関係
- 2-2 押し込み方式による塗膜のバラつき
- 2-3 エアバランス方式による塗膜のバラつき
- 2-4 まとめ

##### 3. スキージの平行調整

##### 4. 安定印刷に重要なスキージ

- 4-1 エッジ形状の重要性
- 4-2 面取り
- 4-3 スキージエッジの変化～機械研磨のみ
- 4-4 スキージエッジの変化～機械研磨+面取り
- 4-5 エッジ形状の違いによる膜厚バラつき

##### 5. 版離れ不良の低減～MSモードのご紹介

- 5-1 クリアランスとピールオフ
- 5-2 版離れ不良
- 5-3 MSモードのご紹介

##### 6. 印刷膜厚安定化のまとめ

##### 7. 凹凸面への印刷方法

- 7-1 なぜ厚膜は転写されないのか
- 7-2 従来工法のパッド印刷
- 7-3 ブラケットを用いる転写技法
- 7-4 スクリーンパッド
- 7-5 スクリーンパッドでの応用事例

##### 8. おわりに

『スクリーン印刷【WEBセミナー】』セミナー申込書 < LIVE アーカイブ > ※いずれかにチェックしてください

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

#### ● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>